

# クリニカルラダー

平成17年1月

段階 実践能力	クリニカルラダー	I	II	III	IV	V	
	職能資格等級	3等級	3等級	4～5等級	5～6等級	7等級～	
	最短経年数	新人1年目	2～3年	4～7年	6～9年	10年～	
共通	到達目標	指導を受けながら基本的援助が安全に行える。 チームメンバーの役割を知り責任を果たすことができる。	看護過程を踏まえ、個別的ケアが実践できる。 日々の看護業務においてリーダーシップがとれる。	自ら状況を判断し、対象に適した看護が実践できる。 看護単位においてリーダーシップが発揮できる。 他者に教育的・指導的に関われる。	自分自身を成長・発展させるための自己啓発が出来る。 看護単位における教育的役割が取れる。 看護単位の課題を明確にし問題解決のために主体的に行動できる。 看護の質の向上に向けて専門性を追求した研究に取り組める。	エキスパート 管理および専門看護分野における研究開発を行い、変革の推進者となる。	マシニスト 看護単位における課題を明確にし、目標を示しながら管理行動が取れる。
	看護実践	看護手順を参考に、または先輩の指導を元に安全に看護技術が出来る。 先輩の指導を受けながら、受け持ち患者に看護実践が行える。	優先度を判断して看護実践が行える。 受け持ち患者について看護実践が行える。(複雑な症例を除いて)	看護実践において、リーダーシップが発揮できる。 複雑及び介入困難な症例についても看護実践が行える。	専門分野において、知識と技術を深め、創造性のある看護が提供できる。 チームの看護実践を評価し、状況変化に応じた支援、指導が行える。	特定の専門看護分野において熟練した技術を用いて水準の高い看護を実践する。	知識・技術と経験を統合した看護実践ができる。
教育	看護単位における特殊性を理解し、自主的な学習が出来る。 積極的に他者の指導を受けることができる。	自己の学習課題を明らかにし、目標を持って学習できる。 先輩の指導を受けながら、後輩及び看護学生に関わることが出来る。	継続的な学習テーマをもって自己研鑽できる。 スタッフ及び看護学生に対し、主体的・教育的に役割行動が取れる。	学習成果を後輩の指導・育成に活用できる。 教育的視点で、学生指導を担当するスタッフへの支援・指導が出来る。	特定の専門看護分野において、看護実践を通してスタッフに支援・指導できる。	看護単位の業務に精通し、ケア管理においてスタッフに指導・支援できる。 現任教育の推進的役割がとれる。	
管理	病院の理念、看護部の方針、病棟目標を理解し、個人目標を設定できる。 看護単位の特殊性と業務内容について理解できる。 先輩の指導のもとに安全に看護業務を遂行でき、チームメンバーとしての役割がとれる。	自己評価を元に個人の課題を明確に出来る。 職場の問題について情報交換し意見が出来る。 一連の看護業務が遂行でき、必要な報告・連絡・相談ができる。	看護単位の目標を達成させるための中心的役割を果たすことができる。 患者全体、スタッフ全体に注意を払い、適宜調整をとることができる。 看護単位以外の院内の組織活動を意識しながら、日々の業務に関して建設的に意見を述べる事ができる。	看護部、看護単位内の方針に沿って、業務の推進役になれる。 患者ニーズとスタッフの能力を考慮し管理業務代行ができる。 管理上の問題点を発見し、建設的に意見するとともに、師長と相談しながら対処することができる。 院内・看護部・看護単位内の委員会活動の推進役になれる。	専門分野に関して、スタッフの能力開発や成長を支援できる。	医療チームの中で調整的役割をとり看護師長を補佐及び代行することができる。 看護単位の問題発見や解決のために積極的に活動できる。	
研究	看護研究の必要性を理解できる。 指導を受けながら、看護研究活動に参加できる。	指導を受けながら、看護研究メンバーとして活動できる。	研究のプロセスを理解し、看護研究活動でリーダーシップがとれる。	看護実践から得た知見を一般化できる。 研究成果を看護実践に生かすことができる。 看護研究のアドバイザーとしての役割が果たせる。	管理および専門看護分野における看護研究を推進できる。 自己の成長のために様々な分野に向けての学習行動がとれる。		